



会長 菅原文之
 幹事 佐々木源悦
 会報 佐々木崇光 佐藤静市
 高橋利光 渡辺光悦

例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2351回例会 2012. 5. 17 No.41

本日の出席率

- ・本日の出席率 78.80%
- ・前回確定出席率 86%

ニコニコボックス

- ・菅原文之会長 本日のスピーチは、もう一人のエース山田直志会員です。私が指導を請う先輩会員の一人です。宜しくお願い致します。
- ・阿部泰彦会員 本日、(社)登米市観光物産協会の定時総会を迎えます。ご協力、ご支援ありがとうございます。本日、夕方5時より「登米・南三陸 Festival」の上棟式です。古式ゆかしく祝いの「ごすもずまき」を執り行います。ご来会をお待ちしております。
- ・富士原裕子会員 誕生日には菅原文之会長さんより大変きれいなお花を頂き、ありがとうございました。ゲストスピーカー佐々木豊志様の素晴らしいプロジェクトのお話、楽しみにしております。そして、これからのご活躍をご期待申し上げます。
- ・鈴木彦太会員 本日のスピーチ担当山田直志会員の紹介でNPO法人日本の森バイオマスネットワークの方々のお話、ご期待申し上げます。
- ・山田直志会員 本日、ゲストスピーカーをお迎えしております。『手のひらに太陽の家』プロジェクト、お聞き下さい！
- ・飯塚仁哉会員 実直にして雄弁家、我等の山ちゃん、カジノのオーナーでもありますぞ！
- ・佐々木源悦幹事以下 ゲストスピーカーを歓迎。
 布施孝之会員 村上武彦会員 佐藤幸一会員
 及川勝永会員 佐藤敬喜会員 氏家良典会員
 高田次雄会員 伊藤俊郎会員 菅野幸一郎会員
 佐竹孝行会員 二階堂學会員 阿部賢悟会員

- 遠藤光則会員 猪股育夫会員 岩瀬正彦会員
- 小泉洋会員 小野寺伸浩会員 武川毅会員
- 高橋義文会員 岩瀬栄市会員 杉田広仁会員
- 秋山茂夫会員

以上、ありがとうございました。

会長要件 菅原文之会長

私達佐沼ロータリークラブは、同僚クラブ又は地域に対して何か誇れるものがあるのかということを考えます。先日の地区大会でRI会長代理の千玄室さんがお茶の極意を通して平和を築いていくという理想で一生懸命頑張っているのだと思いました。私達のロータリーの理想、奉仕の理想とは何なのか、価値観の違う国同志が共通して理想を追求することが出来るのだろうか、私は当初そう思いました。夢や理想というのは非常に大事であると思います。「いつも夢みたいな話をしている」「理想論ばかり言って現実的でない」と私達利益追求の社会ではその傾向がとても強く、夢や理想より現実が、利益の方が大事であると言う人が多いのですが、理想というのは私達それぞれが良いと考えられることであって、その実現性とは関係がないのではないかと思います。人それぞれでありますので夢を持ち続けることは生きがいであり、それが実現しなくても目先の利害にまどわされることなく生きることが出来る。この辺がロータリーの奉仕の理想の極意かなと思う今日この頃でございます。

あと1ヶ月余りを残すのみの私でございます。よろしくお願い致します。

幹事報告 佐々木源悦幹事

- ・登米市倫理法人会より、倫理経営講演会の案内
 日時 6月4日(月) 18:00~
 場所 ホテルニューグランヴィア

各委員会報告

・次年度関係 (猪股育夫次期幹事)

5月20日(日)、二戸市民文化会館で地区協議会が開催されます。関係委員長は、サンシャイン佐沼に7:00集合、7:15出発となりますのでよろしくお願い致します。

今週のスピーチ

「手のひらに太陽の家について」

NPO法人日本の森バイオマスネットワーク
 代表 佐々木豊志様

私の本業は「くりこま高原自然学校」をやっております。今日は、木材屋を業とする副代表の大場隆博と一緒に来ました。自然学校の私と木材屋の大場がなぜ一緒にやっているかということも含めて、登米町の蔵ジヤム隣りに建てている「手のひらに太陽の家」についてお話したいと思っております。

私は、1995年に自分で建物を建て1996年に家族をつれて栗駒耕英地区に行き自然学校を始めました。環境教育や、野外教育、冒険教育をやってきました。そこで、向いている方向が同じだった木材屋の大場と一緒にやることになりました。環境のこと、健康、安全に関してお互いに憂いておりました。大場はシックハウスいわゆる合板、化学物質がある建物は、アレルギーの人は家には入れないといったこと、木材を乾燥するのに重油を使用するとCO₂がどんどん出てくるので、何とか木質のエネルギーで出来ないかということで循環型のライフスタイル、循環型暮らしをこれからやらなければならないというように環境にこだわっていました。私は、子供達の成長の支援、その中でフィールドが自然の中ですので自然のことを考えて、これから持続出来る環境を配慮した、地球環境を守るということも含めて活動をしなければならないというところで、数年前から何度か一緒に企画したり、森林教室をやったりとしておりました。それがスタートです。

場所は、栗原の山の中です。栗駒山の自然の中で四季を通して子供達の体験を深めるということをやっております。最近、小さい子供達にも力を入れ「森のようち園」で通園支援をしております。暮らしを提案していくということで、自給即ち豊かな生活を自分から作るということで畑をやったり家畜を飼ったりと、ひと昔前まではどの東北の地区にもあったような風景をもう一回取り戻そうということをやっております。又、学校に事情があって行けない、人との関わりが手がな子供達を預ってこういう寄宿の生活をしております。暮らしをつくるか自然体験を通して彼等の課題を解決する。

この様な活動をしておりましたが、昨年3月の大地震の前にもうすぐ4年になりますが、2008年6月14日に岩手・宮城内陸地震が起こり駒の湯温泉がのまれました。正に駒の湯温泉と同じ地区に私はいましたので、そこからこの4年間で色々なことがあり「手のひら太陽の家」にたどりつきました。

岩手・宮城内陸地震のために、自然学校で授業が出来なくなり、私自身は困ってしまいました。そこで、平成21年、内閣府がやっている地方の元気再生事業に手を上げ「栗駒山麓震災の復興と環境と循環交流の暮らしプロジェクト」自分が持っているものを全部つぎ込

んでもう一回仕立上げが出来ないものかと3つの事業を提案しました。その中の1つ「地域資源としての森林資源活用の事業」で生まれたのが、NPOのバイオマスネットワークです。栗駒山麓に於ける森林資源を活用すると言うことで申請しました。基本的には自然と共生する、持続出来る暮らしを創造する。地域の資源を持続して活用するということで森林資源に目を向けました。森林はなかなか活用されないという問題点がいっぱいあるのですが取っ手でもう1回森林をちゃんとやろうということで、大場に声を掛け、林業関係の人、製材所の人と一緒にやろうと進めました。そのプロジェクトの中心は、エネルギーとしても森林は使えるのではないかと、木質ペレット燃料を普及すると、間伐材や端材など放って置かれている資源を使いましょうということで、燃料として普及しようとした。

1950年以前は、日本の森は、2~3割は建物として使われ、7~8割はエネルギーでした。薪や炭で、そこで里山に手が入り循環していました。ところが1950年以降石油に代わり、どんどん森に手が入らなくなり、そのまま放置されたというのが各地に見られる森林だと思えます。ですから、もう1回森林に手を入れようと言うのが1つ。もう1つは石釜を使う。これは、薪を使うことですので、各地に石釜が出来ればパンを焼きながら森林がきれいになるのかなということ。石釜の普及をやりました。森林資源の活用を推進するための協議会も立ち上げました。この協議会がNPOの母体です。木質ペレットの燃料の普及をやってきました。バイオマスネットワークの立ち上げてからカフェをやってきました。森を考えるカフェということで隔月で興味のある方やゲストスピーカーを招いて「森林のことを考えよう」ということをやってきました。CO₂の排出に関しても取り組んでおります。森林資源を燃やして出るCO₂は、成長する時にCO₂を吸収しますので、プラス、マイナス0でCO₂の排出は0という仕組みです。ですから化石燃料を燃やすのではなくて、森林資源を燃やすことを勧める取り組みです。

昨年の3・11東日本大震災後、登米市東和町旧鱒淵小学校跡地を借りて、そこを拠点にボランティア活動をしました。その時アウトドアメーカー「モンベル」の辰野会長と知り合い、辰野会長の後押しで「手のひらに太陽の家」建設地を登米町に取得し、「復興共生住宅」の建設を進めております。主に県内産木材を使い環境にこだわったエネルギーの仕組みを取り入れたエコハウスのモデルにもなる建物で、7月中旬開所予定です。



スピーカー、佐々木豊志さんと一緒に。